



なっとくんの

なるほどなっとくニュース

Community Museum「地域の宝・学校の宝」学校を中心とした地域の教育的環境の活用をめざして

※なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

こんなところにすてきな歴史(県内最古と最大)



村の人々や財産を支配していた豪族などの墓を古墳といいます。有力な豪族は、生きているうちに人々を使って巨大な墓をつくりました。山口県にも約340の古墳があるそうです。今回はその古墳の中で県内で最も古い古墳と最も大きい古墳を紹介します。



県内最古の古墳～国森古墳～

熊毛郡田布施町川西



国森古墳は、4世紀の初めごろにつくられ、県内最古と言われている、標高約42メートルの丘陵の先端部にある古墳です。

古墳の形は四角形をした方墳と呼ばれるもので、一辺が約30mもあります。墓穴には長さ4mの箱式木棺があったと考えられています。

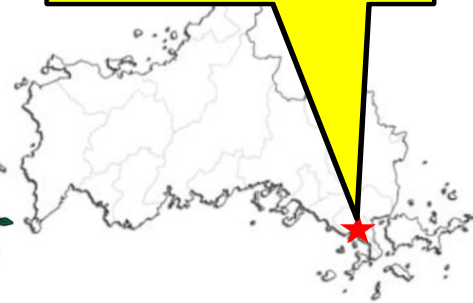
この古墳にまつられている豪族は、大和の勢力や岡山の支配者とのつながりを持ちながらも、瀬戸内の重要地域である周防部を支配する独立した勢力の支配者と考えられています。

県内最大の古墳～白鳥古墳～

熊毛郡平生町佐賀



Google Earthより



白鳥古墳は、5世紀中ごろ、海にのぞんだ丘の上につくられた山口県最大の前方後円墳(全長約120m)です。

この古墳は、瀬戸内海航路の重要拠点だった熊毛地方の支配者の墓と言われています。大和政権と深いつながりがあったと考えられています。

山口博物館のウェブサイトの二次元コードです。

